

地域福祉の理論と方法

専門教育科目 / 4 単位 / T 授業

担当教員 山崎 睦男

■使用テキスト

福祉士養成講座編集委員会(編)『新・社会福祉士養成講座第9巻 地域福祉の理論と方法 第3版』中央法規出版 2015

◆参考テキスト資料等

日本地域福祉学会(編)「新 地域福祉事典」中央法規 2006
厚生労働省「社会的な援護を要する人々に対する社会福祉のあり方に関する検討会」報告書 2000
厚生労働省・援護局「これからの地域福祉のあり方に関する研究会報告書」2008
社会福祉法
厚生労働省「社会保障審議会生活困窮者の生活支援のあり方に関する特別部会報告書」2015
厚生労働省「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部関係資料」2016～
「月刊福祉」全国社会福祉協議会 毎月発行

講義概要・一般目標

地域福祉の理論と方法では、地域福祉の歴史的展開を踏まえ、新しい地域福祉の展開について、その理論、方法を体系的に理解する。また、地域での自立生活を支援していくためのサービスシステム、地域ケアのあり方や地域福祉の主体形成の意義、推進体制の展開方法などを修得する。

なお、本科目に関するテキストをはじめ、参考テキスト・資料等により、基本的知識や地域福祉の動向を修得する。

到達目標

- 1) 新しい社会福祉システムについて説明できる
- 2) 地域福祉の基本的考え方を説明できる。
- 3) 地域福祉の主体形成と福祉教育の方法について説明できる。
- 4) コミュニティソーシャルワークと専門職の役割について説明できる。
- 5) 行政組織と民間組織の役割の実際について説明できる。
- 6) 住民の参加と方法について説明できる。
- 7) ソーシャルサポートネットワークについて説明できる。
- 8) 地域における社会資源の活用・調整開発について説明できる。
- 9) 地域における福祉ニーズの把握方法について説明できる。
- 10) 地域トータルケアシステムの構築と実際
- 11) 地域における福祉サービスの評価方法について説明できる。
- 12) 災害支援の考え方と地域福祉のあり方について説明できる。
- 13) 日本の地域福祉に影響を与えた海外の考え方を説明できる。

実務経験のある教員による教育

科目担当者(山崎)は、地域福祉の実践現場(社会福祉協議会)での5年以上の実務経験に基づき、実践的な視点から「地域福祉の理論と方法」の習得を目的とした添削指導を行う。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第1章 新しい社会福祉システム

この章のポイント

日本の戦前・戦後復興期の地域福祉の歴史を学び、社会福祉における新しい考え方および新しい福祉サービスシステムとしての位置づけを理解する。

第2章 地域福祉の基本的な考え方

この章のポイント

1960年代の地域福祉の概念化と理論化からその後の地域福祉論の展開を学び、地域福祉における地域の捉え方や地域福祉のあり方など基本的な考え方を学ぶ。

第3章 地域福祉の主体と福祉教育

この章のポイント

地域福祉推進にとって、福祉教育は欠かせない重要な理念であり方法の一つであることを理解し、地域福祉の主体形成の意味について理解する。

第4章 行政組織と民間組織の役割と実際

この章のポイント

社会福祉サービスの提供組織は、行政や社会福祉法人、社会福祉協議会をはじめ民間組織や団体へと拡大してきている現状において、地域福祉の推進に果たす役割について検証するとともに、地域福祉計画や地域福祉活動計画についての概要を理解する。

第5章 コミュニティソーシャルワークと専門職の役割

この章のポイント

新たな地域福祉実践の考え方として、コミュニティソーシャルワーク機能が必要とされている。その基本的な展開プロセスを学び、それぞれの専門職の役割を理解する。

第6章 住民の参加と方法

この章のポイント

地域福祉の推進主体として、地域住民が位置づけられるが、その住民参加の意義と役割、方法について理解する。

第7章 ソーシャルサポートネットワーク

この章のポイント

地域福祉実践の視点から、地域における生活者としてサービス利用者を支援していくための方法について、ソーシャルサポートネットワークの考え方とその活用方法について理解し、コミュニティソーシャルワークの実際を学ぶ。

第8章 地域における社会資源の活用・調整・開発

この章のポイント

地域福祉を推進していくためには、保健・医療・福祉に限らず、教育・環境・産業などの資源の活用が求められている現状にあることから、社会資源をどのように捉え活用していくのか、また、新たな社会資源の開発も含めてその展開方法を学ぶ。

第9章 地域における福祉ニーズの把握方法と実際

この章のポイント

地域における福祉ニーズは、複雑化、多様化、潜在化している状況にあり、地域の特性を踏まえどのようなニーズがあるのかを理解するとともに、ニーズを把握する方法を学ぶ。

第 10 章 地域トータルケアシステムの構築と実際

この章のポイント

地域での自立生活を支援するための地域トータルケアシステムの必要性について理解し、そのシステムの構築のために保健・医療・福祉の連携のあり方、その展開方法を学ぶ。

第 11 章 地域における福祉サービスの評価方法と実際

この章のポイント

個人の尊厳と自己実現を目指す福祉サービスの提供のあり方は、質量ともに高いものが求められる。質を確保し、向上させていくための取り組みとして、どのような評価方法を確立していくことが必要であるのか、福祉サービスの評価方法を理解する。

第 12 章 災害支援と地域福祉

この章のポイント

災害支援の考え方、法制度や災害後の生活課題を理解することにより、災害支援に求められる地域福祉実践の視点や方法について学ぶ。

第 13 章 日本の地域福祉に影響を与えた海外の考え方

この章のポイント

日本の地域福祉は、イギリスやアメリカなどの影響を受けながら発展してきた経緯があり、諸外国での理論や実践を学ぶとともに、グローバル化が進む今日において、国際的な視点ももった地域福祉の推進方法を理解する。